



1

1 令和2年11月19日の外務省・田原本町共催駐日外交官の地方視察ツアーでは、参加者のサポートを行いました。(写真は柿の葉寿司づくり体験の様子) 2 令和3年1月30日、歴史講座「講師・谷山正道さん(元天理大学教授)による、明治の奈良県再設置運動を中心とした講義」を開催。当日は熱心な参加者で満員でした 3 令和3年1月31日まで、奈良田原本流鍋馬まつり写真展「復活の記憶」を開催。少しでも皆さんに、あの時の興奮、臨場感を思い出してもらえたら嬉しいです



2



3

特集1 田原本まちづくり観光振興機構

「また来たいな…」 そんなまちを目指して

令和2年10月1日より設立された(一社)田原本まちづくり観光振興機構。今回は「また来たいな…」と言ってもらえる地域主体のまちづくりを目指し、町の魅力向上のため活動を続ける同団体を紹介します。

〒(一社)田原本まちづくり観光振興機構
☎ 33-4560

4 令和2年10月3日・4日、第9回おもしろ歴史フェスティバルにてブース出展。町の特産物販売やPRを行っています 5 川東地域PR動画(企画・田原本町川東地域資源活用協議会)をYouTubeで公開中。地域主体の取り組みを積極的に紹介していきます

ホームページ、SNSなどで 情報発信中

まちのイベントや地域の取り組みなど、さまざまな情報を発信中。ぜひご覧ください！



▲ホームページ



▲ Facebook

YouTube チャンネル開設



▲ YouTube

「たまかん
チャンネル」
ぜひ登録お願
いします！



4



5

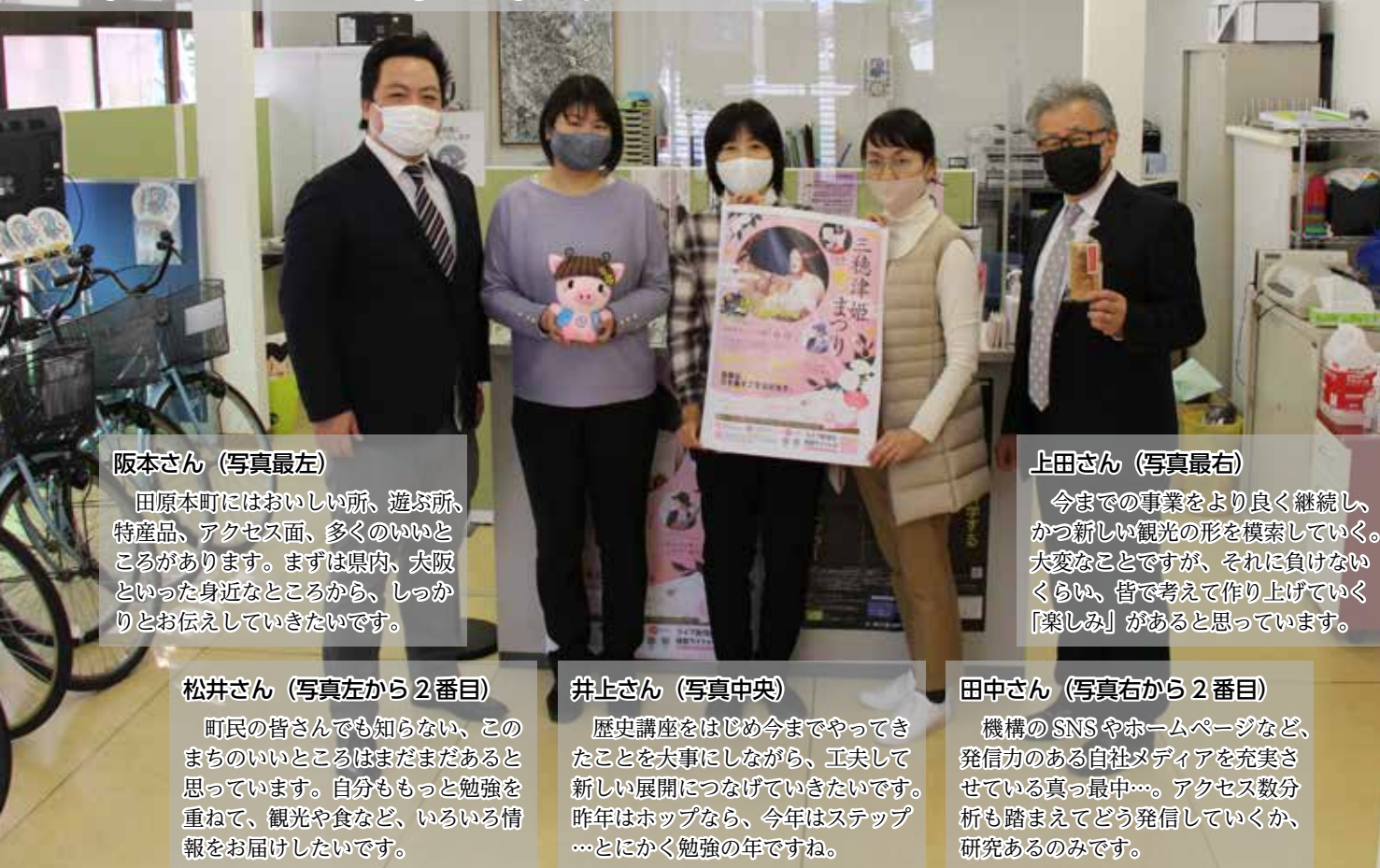
田原本まちづくり観光振興機構とは
観光・商工業・農業に一体的に取り組み、地域の稼ぐ力を引き出して「まちづくり」を推進する、民間主導型の団体として令和2年10月1日に設立されました。

目指す「まちづくり」

- 田原本町観光協会が行っていた事業の継続・強化。
- 観光客の受入環境整備、観光コンテントの開発。
- 地域振興に寄与する地域商品・農産品・サービスの開発、販売の促進。
- イベント企画運営、観光拠点施設の管理運営。

など、多くの人が何度も訪れ、住みたくなる「地域主体のまちづくり」を目指していきます。

メンバーからのメッセージ



阪本さん (写真最左)

田原本町にはおいしい所、遊ぶ所、特産品、アクセス面、多くのいいところがあります。まずは県内、大阪といった身近なところから、しっかりとお伝えしていきたいです。

上田さん (写真最右)

今までの事業をより良く継続し、かつ新しい観光の形を模索していく。大変なことですが、それに負けないくらい、皆で考えて作り上げていく「楽しみ」があると思っています。

松井さん (写真左から2番目)

町民の皆さんでも知らない、このまちのいいところはまだまだあると思っています。自分ももっと勉強を重ねて、観光や食など、いろいろな情報をお届けしたいです。

井上さん (写真中央)

歴史講座をはじめ今までやってきたことを大事にしながら、工夫して新しい展開につなげていきたいです。去年はホップなら、今年はステップ…とにかく勉強の年ですね。

田中さん (写真右から2番目)

機構のSNSやホームページなど、発信力のある自社メディアを充実させている真っ最中…。アクセス数分析も踏まえてどう発信していくか、研究あるのみです。

イベント情報

田原本町記紀・万葉事業実行委員会 ☎ 33-4560

田原本町 記紀・万葉事業ファイナル

三穂津姫まつり

世阿弥ゆかりの地・田原本町
オリジナル新作能「^{じゅちん}寿椿」

3月13日(土)

午後7時 動画公開予定

詳しくは特設サイトにて



三穂津姫まつり
特設サイト



こども能楽教室(伝統文化を次世代へつたえる会)の子どもたちが「椿の精」、地元の大人たちが「ワキツレ」として出演するなど、多くの人たちの力が集まりました。



オリジナル新作能「寿椿」について

あらすじ

昭和33年、世阿弥と妻・寿椿が得度した禅寺が補巖寺であると判明しました。発見者の息子、表きよしは補巖寺で寿椿の霊に出会います。
見どころ

町の子どもたちが「椿の精」として登場します。椿は時を超え受け継がれてゆくものの象徴…先人たちの思いや技を、現代の子どもたちが表現する様をぜひご覧いただきたいです。



観世流能楽師
山下あさのさん

日々の感謝をあの人に
三穂津レター配布中

村屋神社の祭
神・三穂津姫命は
おおもぬしのみこと
大物主命との夫婦神。



その縁結びのご利益

にあやかって、日頃の感謝の気持ちを三穂津レターに書いて伝え合いましょう。

● 3月31日(水)まで配布します。配布先については特設サイトをご覧ください。